

2024年11月5日

MSPパートナー各位

Arcserve Japan

『Arcserve® UDP 10』リリース 利用開始および 新価格のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社ではデータ保護ソリューションの新バージョン、「Arcserve® Unified Data Protection 10 (以下、Arcserve UDP 10)」をリリースする運びとなりましたので、ここにご案内申し上げます。

Arcserve UDP 10 は、お客様のサイバー レジリエンスを一段と強化するとともに、オンプレミス環境だけではなくクラウド環境の保護を強化する機能を多数追加しています。

Arcserve UDP 10 の新機能と拡張機能、価格等につきましては次ページ以降をご覧ください。

MSP パートナー様におかれましては、今後とも「Arcserve® シリーズ」の拡販にご支援賜りますようお願い申し上げます。

敬具

<Arcserve UDP 10 の 主な新機能・拡張機能>

◆ サイバー レジリエンスの強化を支える機能

アシュアード セキュリティ スキャン

Windows 標準の Microsoft Defender を利用してバックアップデータをスキャンすることで、ランサムウェアなど悪意のあるファイルのない、クリーンなデータリストアを実現します。

読み取り専用データストアのインポート/マウント

テープや Arcserve OneXafe に二次バックアップしたデータを、Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ（RPS）の読み取り専用データストアとしてインポートできます。これにより、バックアップの運用に影響を与えることなく、リストアの訓練を行えます。

SQL Server データベース のバックアップ データのマウント

バックアップするデータの内容確認を実際のリストア実行前に行うことで、リストア完了後の問題発覚を未然に回避できます。また、マウントしたデータベースは検証用データベースとしても活用できます。

RPS データストア用共有フォルダの削除

共有フォルダの利用を止めることで RPS データストアへのリモートからの不正アクセスを防ぎ、ドライブレターの無いデータストアと合わせて、ランサムウェア対策を強化できます。

◆ クラウド/オンプレミス環境のデータ保護を強化する機能

Google Cloud Platform (GCP) への仮想スタンバイ

事業継続（BCP）を実現する仮想スタンバイで GCP が新たに利用可能になり、安心の選択肢が増えました。

仮想スタンバイの手動実行

任意のタイミングで仮想スタンバイを実行できます。これにより、Amazon EC2 や Microsoft Azure , GCP での Windows システム復旧が簡単に行えます。

1対多のレプリケーション

バックアップ データを柔軟に多重化することで、災害対策を強化できます。

RPS リモート共有データストアにおける UNC パスワード長の拡張

Azure Files など、文字数の多いパスワードが求められる共有フォルダ サービスをデータストアのデスティネーションに利用できます。

新しい Linux カーネルへの自動対応機能

Linux OS のカーネルを更新した際に、新しいカーネルに対応したドライバを自動的に適用するため、管理者の手間を軽減しつつ、バックアップ精度を向上できます。

RHEL 9.x 系のベアメタル復旧（BMR）およびインスタント VM のサポート

Red Hat Enterprise Linux、AlmaLinux、Rocky Linux などの最新バージョンの事業継続・災害対策が可能です。

その他の新機能・拡張機能は受注開始に合わせて弊社ウェブで公開する情報をご確認ください。

<Arcserve UDP 10 価格やスケジュール等>

◆ 価格：

Arcserve UDP 10 から新価格が適用されます。尚、Arcserve UDP 9.x の価格は変更ありません。
詳細は弊社ウェブで公開する情報をご確認ください。

◆ 動作要件：

2024 年 11 月 7 日以降にサポートページで確認ください。

<https://support.arcserve.com/s/?language=ja>

◆ ライセンス製品の SKU・価格：

別紙 1 をご覧ください。

◆ MSP 様向け共有ページ開設

<https://www.arcserve.com/jp/arcserve-msp-partners-info>

ページにログインするためには、パスワードが必要です。パスワード別途ご案内します。

価格表・コンポーネント一覧・ライセンスキー申請フォームを閲覧、ダウンロードできます。

◆ ライセンスキー：

[MSP 様向け共有ページ（パスワードが必要）](#) から WORD ファイルをダウンロード頂き
必要項目をご記入の上、MSP メーリングリスト（MSP-JP@arcserve.com）までご連絡ください。
受付開始日：2024 年 11 月 7 日（木）

◆ 利用・サポート終了製品：

新製品のリリースに伴い、以下の製品の利用・サポートが終了となります。

対象製品：Arcserve UDP 8.x （8.0/8.1）日本語版の全製品

利用・サポート終了予定日：2025 年 10 月 31 日（金）

◆ Microsoft 365 保護機能の提供について：

新規に利用される Arcserve UDP 10 Managed Capacity（容量単位）ライセンスでは Microsoft 365 の保護は行えません。

なお、Arcserve UDP 9.x 以前の Managed Capacity ライセンスをご利用のお客様で Arcserve UDP 10 の Microsoft 365 用のライセンス キーが必要な方は、申請フォームにてその旨お知らせください。

その他、ご不明な点につきましては、弊社 営業部（Tel：03-4520-0640）までご連絡いただきますようお願い致します。

以上

別紙 1

◆ Arcserve Unified Data Protection (UDP) 10.x MSP 様向け SKU ・ 価格

製品名称	SKU	月額使用料金 (消費税別)	月額使用料金 (消費税込)
Arcserve Unified Data Protection			
Arcserve UDP 10.x Advanced Edition - VM - Service Provider Licensing	NUAD0100SPJPVME01C	¥3,000	¥3,300
Arcserve UDP 10.x Advanced Edition - Server - Service Provider Licensing	NUAD0100SPJOSFE01C	¥5,900	¥6,490
Arcserve UDP 10.x Advanced Edition - Socket - Service Provider Licensing	NUAD0100SPJSKFE01C	¥5,900	¥6,490
Arcserve UDP 10.x Advanced Edition for Nutanix - Socket - Service Provider Licensing	NUAD0100SPJAHVE01C	¥5,900	¥6,490
Arcserve UDP 10.x Premium Edition - Socket - Service Provider Licensing	NUPR0100SPJSKFE01C	¥11,800	¥12,980
Arcserve Managed Capacity *3			
Arcserve UDP 10.x Advanced Edition - Managed Capacity 1TB - Service Provider Licensing	NUAD0100SPJTB1E01C	¥17,600	¥19,360
Arcserve UDP 10.x Premium Edition - Managed Capacity 1TB - Service Provider Licensing	NUPR0100SPJTB1E01C	¥73,300	¥80,630
Arcserve UDP 10.x Premium Plus Edition - Managed Capacity 1TB - Service Provider Licensing	NUPP0100SPJTB1E01C	¥127,500	¥140,250